

—— 聴覚障害者及び視覚障害者のための大学 ——

筑波技術大学ニュース

第 32 号

発行日：2014年 7 月

www.tsukuba-tech.ac.jp

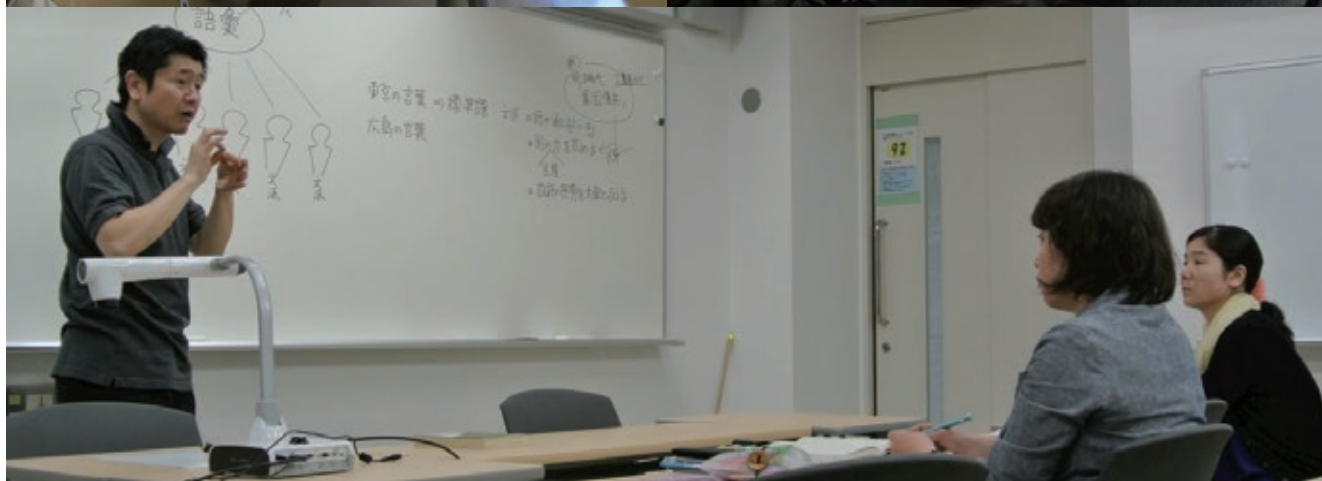


国立大学法人

筑波技術大学



筑波技術大学では、筑波技術大学ニュースのメール配信を行っております。ご希望の方は、件名を「筑波技術大学メール配信希望」、本文に、「団体名（個人名）」をご記入の上、筑波技術大学総務課企画・広報係（kouhou@ad.tsukuba-tech.ac.jp）までメールにてご連絡ください。



平成 26 年 4 月より、筑波技術大学大学院技術科学研究科情報アクセシビリティ専攻が開設されました。聴覚・視覚障害者の社会的自立・参画に貢献するための障害者支援に関する専門的、系統的な知識と技術を有し、障害者と健常者が共生する社会において障害者支援の中核な役割を担いいうる高度専門職業人及び研究者を養成することを目的としています。詳細については 2 ページ目の「大学院、『情報アクセシビリティ専攻』開講！」をご覧ください。

● 大学院、「情報アクセシビリティ専攻」開講！

4月1日より本学の大学院技術科学研究科に第3の専攻「情報アクセシビリティ専攻(修士課程2年制)」が設置され、授業が始まりました。

情報アクセシビリティという用語は未だあまり広く浸透していませんが、情報の収集が困難な人々に様々な方法を使って情報にアクセス(access=近づく)することを可能にすることを意味します。

これまで、本学の大学院技術科学研究科には産業技術学専攻と保健科学専攻の2専攻があり、各専攻が3コースを有するために計6コースの専門がありました。産業技術学専攻(聴覚系)は、情報科学コース、システム工学コース、総合デザイン学コースの3コースから成り、保健科学専攻(視覚系)は鍼灸学コース、理学療法学コース、情報システム学コースの3コースで構成されています。

上記2専攻が本学の産業技術学部(聴覚系学部)と保健科学部(視覚系学部)を基盤とする大学院であるのに対して、「情報アクセシビリティ専攻」は、障害者高等教育研究支援センターを基盤とする大学院です。障害者支援(視覚障害)コース、障害者支援(聴覚障害)コース、手話教育コースの3コースで構成されています。今年度は障害者支援(視覚障害)コースに2名、障害者支援(聴覚障害)コースに2名、手話教育コースに1名の大学院生が入学しました。

本専攻の目的は、視覚や聴覚に障害のある学生の修学や就労に寄与する高度な専門性を有する支援者、技術者、コミュニケーション教育研究者等の養成です。自らが受けた情報保障を発展させて更に良い支援を研究しようとする障害のある方々のみならず、それらを支援する障害のない方々も本専攻では学べるのが、他の2専攻と大きく異なる点です。

来年度、平成27年度の入学試験は平成26年9月25日(木)に実施します。定員は一般選抜と社会人選抜併せて5名です。本学の卒業生、他大学で学ぶ学生(卒業見込みも含)、障害学生支援や情報保障に関心のある方に広くご紹介頂きますと幸いです。なお、詳細は本学のホームページ(<http://www.tsukuba-tech.ac.jp/>)をご覧ください。

新しい学問領域を開拓する本専攻の取り組みにどうぞご期待下さい。宜しくお願い致します。

(技術科学研究科情報アクセシビリティ専攻長

須藤 正彦)



聴覚障害情報保障システム特論の授業風景



視覚障害情報保障特論の授業風景



手話言語学特論の授業風景

● 春のオープンキャンパスを開催

5月12日、保健科学部（春日キャンパス）において、春のオープンキャンパスを開催しました。視覚に障害のある学生が学ぶための保健科学部について、主に受験希望者とご家族の方（生徒11名、保護者等13名）を対象に、授業見学・受験相談・進路説明等を行いました。今後の詳しい日程につきましては、P8をご覧ください。皆さんの参加をお待ちしております。

（視覚障害系支援課教務係）



保健学科理学療法専攻における個別面談の様子

● 情報システム学科を対象とした第2回模擬面接会を実施

3月27日、情報システム学科の3年生を対象とした第2回模擬面接会を実施しました。講師は元㈱テプコシステムズ人事管理担当部長、現清水コンサルタント代表の清水俊勝氏をお招きし、「就職面接における気構えと心得について」というテーマでのお話を伺った後、学生ごとに模擬面接会を実施しました。まず、あいさつをしっかり行うことや心を落ち着けて聞くこと、質問に対しては結論を先に理由や説明は後で話すこと、障害に伴いできることできないことの明確化や職場改善要望などの有無をまとめておくこと、さらには、必ず企業側の面接者に対しての質問を聞かれるので、事前に準備しておくことの重要性などのお話がありました。また、個別学生への模擬面接指導も行われ、ドアから着座までの練習や実際の受け答えなど本番さながらの面接を行いました。学生は、他の学生が受けている指導の様子を同じ部屋で聴き、お互いが勉強できる体制を採り、

よい点や改善点についての具体的なアドバイスをいただき、今後の就職活動に向けて有意義な模擬面接会となりました。

（情報システム学科 嶋村 幸仁）



模擬面接風景

● 就職活動における身だしなみと着こなし講座を実施

6月4日、天久保キャンパス講堂において、就職活動における身だしなみと着こなし講座を開催しました。講師に洋服の青山つくば研究学園店店長の佐藤岳暁氏をお招きし、専門的な立場からスーツの着こなしやメンテナンス、その他就活マナーの基礎知識等についてご講演いただきました。この講座は全学の学生を対象として行ったもので、産業技術学部2～4年次生50名、保健科学部3年次生4名の合計54名の参加がありました。学生は着慣れないスーツに身を包み、講座内容についてのクイズを受けたり、講師の方から自身の身だしなみのチェックを受けたりしました。質疑応答では、ネクタイやワイシャツの色について学生から質問があり、講師の方は色が面接の際に企業の方に与える印象を丁寧に説明して下さいました。

（聴覚障害系支援課学生係）



名刺交換のマナーを説明する様子

● 全国各地で産業技術学部の大学説明会を開催

5月1日に福岡県立福岡高等聴覚特別支援学校、5月2日に大分県立聾学校、5月14日に北海道高等聾学校にて産業技術学部の大学説明会を開催しました。最近の聴覚障害者の大学進学状況、本学の特色、各学科の教育内容、入試情報や対策などについての説明と、大学の授業を模擬体験できる体験授業を実施しました。

福岡県立福岡高等聴覚特別支援学校と大分県立聾学校では2種類の体験授業を実施しました。1つは産業情報学科のシステム工学専攻の内容を題材とした「力の可視化～解析技術の過去から現在～」です。光の屈折現象で材料に力が加わった様子を観察できることを実際に体験し、最近ではCAE技術によってPC上で同様のシミュレーションが行えることを、専門的な知識がなくても理解できるように解説しました。もう1つは情報科学専攻の内容を題材とした「画像工学・演習 Lite ～人の画像理解と錯視について～」です。PC上での画像処理技術を学ぶ前に、そもそも人が目で見えた画像をどうやって解釈（処理）しているのかについて学びました。また人が画像に対して誤った解釈をしてしまう錯視を体験してもらい、実際に社会で応用されている例について解説しました。図1は授業で使用したスライドの一部で、平行線が曲がって見えてしまう「ツェルナー錯視」について紹介したものです。

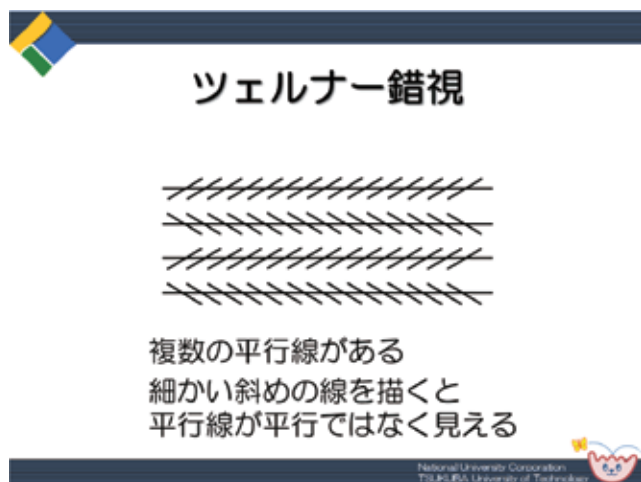


図1：「ツェルナー錯視」について説明したスライド

北海道高等聾学校での体験授業は「コミュニケーションする機械～コミュニケーションについて情報科学の立場で考えてみよう～」というもので、情報科学専攻の1年生が受講している情報科学概論のダイジェスト版です。対話するコンピュータや感情表現するロボットなどの紹介を通してコミュニケーションを見つめ直そうというもので、専門的な知識のない方々にも楽しんでもらえる内容です。図2は、北海道高等聾学校出身の学生が取り組んだ卒業研究の紹介スライドです。同校の出身学生が作成したソフトウェアを実際に動かしながら、コミュニケーションにおける表

情の大切さを楽しく学んでもらいました。当日の和やかで楽しい体験授業の雰囲気を感取っていただければと思います。

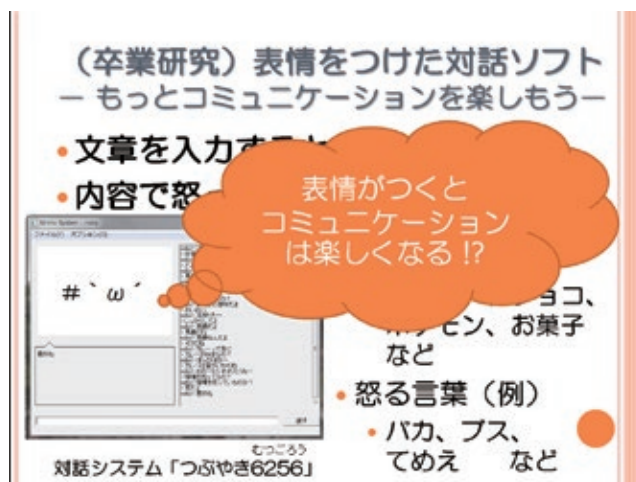


図2：体験授業の中で卒業研究を紹介したスライド

6月1日には、東京都渋谷区の日本薬学会長井記念館にて、筑波技術大学産業技術学部大学説明会（関東地区）を開催しました。午前中に産業情報学科と総合デザイン学科の体験授業を実施し、午後から本学の特色、各学科の教育内容、就職状況、入試情報や対策などについて説明を行いました。また、各学科の授業や研究を紹介したポスターや作品も展示しました。総合デザイン学科の体験授業「写真入り名刺をつくってみよう～レイアウトの基本を学ぶ～」では、文字と写真をレイアウトして伝えたいイメージを表現する方法についてわかりやすく解説しました（図3）。



図3：参加者がPCを操作し、文字と写真をレイアウトして自分の名刺をつくる体験をしている様子

産業技術学部では、参加者の人数や場所を問わず本学の教員を無料で派遣し、ご要望に合わせたミニ説明会を開催しています。お気軽にご連絡ください。

（産業情報学科 内藤 一郎、若月 大輔）

● 福島県南相馬にて学生によるボランティア活動を行いました

4月5日、6日の2日間、本学鍼灸学専攻の学生が福島県南相馬市にて仮設住宅に住む63名の避難者の皆様にサークル活動実習の一環としてボランティアマッサージさせていただきました。マッサージを受けていただいた皆様の笑顔になっていただいたことが本当に嬉しかったです。なお、本活動は筑波技術大学基金「平成25年度学生企画コンテスト」の助成並びに支援を受けて実施しました。

(保健学科鍼灸学専攻 近藤 宏)



ボランティアマッサージの様子

● スタンプショウ2014で「障害者スポーツ」が金銀賞を受賞

4月25日から4月27日にかけて、スタンプショウ2014・第15回トピカル切手展（主催：公益財団法人日本郵趣協会）が東京都内で開催されました。トピカル切手展は切手を図案別・発行目的別などに分類したさまざまなトピカル・コレクションを対象にした作品展です。2020年に東京パラリンピックが開催することが決定しましたので、障害者スポーツのさらなる普及・発展に役立てればと願い、今回は「障害者スポーツ」を出品いたしました。本作品は

障害者スポーツに関連する郵便物を、パラリンピック、アジアパラゲームなどの国際大会、全国障害者スポーツ大会、聴覚障害者のデフリンピック、知的発達障害者のスペシャルオリンピックスなどの項目に分類し系統的に展示したものです。この作品に使用している代表的な切手を3点ご紹介させていただきます。

(保健学科鍼灸学専攻 大沢 秀雄)



アルゼンチン(1964)、東京パラリンピック
(最初のパラリンピック切手)



フランス(1970)、車椅子槍投げ



イギリス(2010)、ロンドン・パラリンピック、
ゴールボール



台湾(2009)、第21回夏季デフリンピック



オーストリア(1988)、第4回冬季パラリンピック、
アイススレッジスピードレース

● つくばスポーツ探検隊に本学サークルが協力

4月26日、春日キャンパス体育館で開催されたつくばスポーツ探検隊（アクティブつくば主催）において、本学のブラインドサッカーサークルとロービジョンフットサルサークルが協力し、ブラインドサッカーを指導しました。つくばスポーツ探検隊とは、つくば市周辺の小学生を対象としたスポーツプログラムで、様々なスポーツを各種目専門のスタッフからの指導を受けて体験します。両サークルが探検隊を指導するのは、2年前に続いて2回目です。

隊員である小学生たちは90分に亘って、ブラインドサッカーサークル指導によるアイマスクをつけての体操やシュートの練習、ロービジョンフットサルサークル指導による弱視疑似体験や弱視者の見え方の説明など、盛り沢山のプログラムを探検しました。そして最後は探検隊らしく敬礼で締めくくりました。子どもたちの「またブラインドサッカーを探検したい」という感想が、学生たちにとって何よりの収穫だったと思います。

（情報システム学科 福永 克己）



講義風景

● ブラインドサッカー日本代表の秋田合宿に本学関係者が多数参加

5月3日から5日にかけて、秋田市八橋運動公園広場人工芝グラウンドにて行われたブラインドサッカー日本代表の強化合宿に本学関係者が多数参加しました。本合宿は、秋田県のスポーツ観光推進モデル事業としてNPO法人トップスポーツコンソーシアム秋田の招待により行われました。

また、4日には盲学校の生徒を含む地元の小中学生を対象としたブラインドサッカー体験会が開催され、代表選手たちとの交流を通し仲間と助け合うことの大切さを学んだようです。代表選手たちも子どもたちの声援を受け、今年10月のアジアパラ競技大会（韓国・仁川）、11月の世界選手権（東京都渋谷区）に向けて有意義な練習ができたようです。なお、その模様は読売新聞、秋田魁新報など多くのメディアに取り上げられました。写真は後列左から順に、代表ドクターの木下裕光教授、卒業生の川村怜さん、加藤健人さん、日向賢さん、代表トレーナーの松井康助教、前列左が情報システム学科1年の佐々木ロベルト泉君、右が代表コーチを務めさせて頂いている福永です。

（情報システム学科 福永 克己）



合宿参加の面々

● 日本ろう者サッカー協会男子日本代表候補合宿に本学学生が参加

5月3日から5日にかけて、2014年度第2回日本ろう者サッカー協会男子日本代表合宿が行われました。本学からは、昨年の第22回デフリンピック大会に出場した吉野勇樹君（産業情報4年）をはじめ、大西諒君（産業情報3年）、藤村厚史君（産業情報3年）、杉本大地君（産業情報2年）の4人が参加しました。初日は、本学グラウンドにおいて体力測定が行なわれました。翌4日は筑波大学との練習試合が行われ、最終日は常総運動公園においてチーム練習が行なわれました。チームは今年11月にイランで開催される「アジアろう者サッカー選手権大会」に出場する予定です。先日、吉野君、大西君、藤村君の代表入りが正式に決定し、杉本君もバックアップメンバーとして登録されました。学生達の活躍を期待したいと思います。

（障害者高等教育研究支援センター 中島 幸則）



チームの中心選手の吉野君

● つくばフェスティバル2014にてイベントを開催

5月11日、つくば市で「科学と国際交流」をテーマにした「つくばフェスティバル2014」が開催されました。本学からは、産業技術学部の荒木勉教授による「作って飛ばそう!!紙飛行機」、ブラインドサッカー部がつくばFCと協力したブラインドサッカー体験会の2つのイベントが参加し、多くの来場者が詰めかけました。

紙飛行機のイベントでは産業技術学部の学生もサポートし、参加した子供から大人まで楽しそうに紙飛行機を作成していました。

また、ブラインドサッカー体験会では、参加者が目隠しのアイマスクをし、ブラインドサッカー部顧問の情報システム学科の福永克己助教や部員など指導者の声と鈴の入ったボールを頼りに、コーンのスラロームをドリブルしました。

両イベントは休日開催ということもあり、子ども連れなどの多くの参加者で賑わい、成功裏に終了しました。

（総務課企画・広報係）



紙飛行機を作る様子



ブラインドサッカーを体験する様子

お知らせ

●【平成 26 年度公開講座実施予定】

●東洋医学とヘルシー・エイジング

開催期日：9月15日(月)、10月19日(日)、11月16日(日)
の3日間 13:00～16:10(9時間)

定員：30名 受講料：3,000円

対象：一般市民

●手話入門

開催期日：9月から11月実施予定 10:30～16:00(15時間)

定員：10名 受講料：5,000円

対象：一般市民

●〈初心者のための総合CAD基礎講座〉作って学ぶCADとモデリング；3次元プリンタによる立体モデルの製作まで

開催期日：9月20日(土)、9月21日(日)の2日間 10:00～16:00(10時間)

定員：10名 受講料：3,000円

対象：一般市民

●医師のための鍼灸実践講座

開催期日：10月5日(日)、11月2日(日)、12月14日(日)
の3日間 10:00～15:00(12時間)

定員：10名 受講料：7,000円

対象：医師・歯科医師

●美しい老いかた―“口腔の老化”と“血管年齢測定・ロコモ対策・鍼灸体験”―

開催期日：9月28日(日)、9:00～15:00(5時間)

定員：30名 受講料：2,000円

対象：一般市民

●いきいき健康講座－膝に不安を持つ方への運動療法－

開催期日：未定

定員：10名 受講料：2,000円

対象：一般市民

※上記日程は予定であり、変更になることもあります。最新情報は本学ホームページでご確認ください。

●【公式 Facebook、Twitter の運用開始について】

5月1日より、大学に関するニュースやイベント等について情報を発信することを目的として Facebook と Twitter の公式アカウントの運用を開始しました。なお、本アカウント宛のご意見やご質問などについては原則としてお答え致しませんので、お問い合わせ等がございましたら本学 HP の「お問い合わせ」よりお願いいたします。

Facebook



<https://www.facebook.com/298tech>

Twitter



<https://twitter.com/298tech>

●【平成 26 年度大学説明会の実施について】

産業技術学部

実施地区	実施日	会場名	場 所	最寄り駅
オープンキャンパス	8月2日(土)	天久保キャンパス	茨城県つくば市	つくば駅
授業見学会	11月10日(月)	天久保キャンパス	茨城県つくば市	つくば駅

※上記の2会場のほかに、ミニ説明会の開催希望を特別支援学校(聾学校)及び聴覚障害関係団体等に照会し、ミニ説明会を積極的に行う。

保健科学部

実施地区	実施日	会場名	場 所	最寄り駅
夏のオープンキャンパス	7月27日(日) 8月24日(日)	春日キャンパス	茨城県つくば市	つくば駅
秋のオープンキャンパス	10月24日(金)	春日キャンパス	茨城県つくば市	つくば駅